

| | | | | | |
|----------|--|----|-----------|----|-----|
| 氏名 | 保科寧子 | 部署 | 社会福祉子ども学科 | 職名 | 准教授 |
| 研究分野 | 社会福祉学（ボランティア 地域福祉 高齢者福祉） | | | | |
| 学位 | 博士（学術） | | | | |
| 学歴 | 1995年立教大学 文学部 キリスト教学科、07年筑波大学大学院 修士課程教育研究科、11年筑波大学大学院 人間総合科学研究科 ヒューマン・ケア科学専攻 | | | | |
| 経歴 | 2008年埼玉県立大学 保健医療福祉学部 助教、12年4月埼玉県立大学 保健医療福祉学部 講師 18年4月埼玉県立大学 保健医療福祉学部 准教授 | | | | |
| 所属学会（役職） | 日本社会福祉学会、日本地域福祉学会、日本リハビリテーション連携科学学会、日本高齢者ケアリング学研究会（理事）、日本ソーシャルワーク学会 | | | | |

【2020年度実績】

| | | | | | | |
|--------------|---|-------|------|---|---|--------|
| 1. 研究業績 | | | | | | |
| (1) 著作 | | | | | | |
| | 著作の名称 | 単・共 | ISBN | 発行所、全ページ数 | 著者、編者名 | 発行等年月 |
| 1 | クエスチョン・バンク 社会福祉士 国家試験問題解説2021 | 共著 | あり | メディックメディア, 840P 第32回「地域福祉の理論と方法」問題解説, | 医療情報科学研究所編 | 2020.4 |
| (2) 論文 | | | | | | |
| | 論文の名称 | 単・共 | 査読 | IF対象誌 雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ | 著者、編者名 | 発表等年月 |
| 1 | 支援に困難を感じる外国人の相談援助事例からみた生活課題調査 | 単著 | あり | 保健医療福祉科学； 10；p.1-9 | 保科寧子 | 2020.4 |
| 2 | 放課後子供教室における異学年間の交流促進を目的とした実践報告—教員と大学生の共同による準備と当日の展開 | 共著 | あり | 子ども・教職研究； 3；p.53 - 67 | 森田満理子, 保科寧子, 藤枝静暁, 上原美子, 黒田真由美, 松本佳子, 張平平, 望月浩江 | 2020.4 |
| (3) 学会発表 | | | | | | |
| | 学会発表の演題 | 単・共 | | 学会名、開催都市 | 発表者（発表者は○印） | 発表等年月 |
| 1 | 児童養護施設の職員が児童や退所者の自立支援において感じる困難要因の相関からの考察 | 単独 | | 第34回日本地域福祉学会、オンライン開催 | 保科寧子 | 2020.6 |
| (4) その他 | | | | | | |
| | 名称 | 単・共 | | 発表場所等 | 発表者（発表者は○印） | 発表等年月 |
| 1 | 該当なし | | | | | |
| 2. 競争的資金等の研究 | | | | | | |
| | 競争的資金等の名称 | | | 研究名 | 研究代表者・研究分担者の別 | 研究期間 |
| 1 | 該当なし | | | | | |
| 3. 教育業績 | | | | | | |
| (1) 講義 | | | | | | |
| | 講義の名称 | 科目責任者 | コマ数 | 概要（教育内容・方法等において工夫した点） | | |
| 1 | ソーシャルワーク概論 | ○ | 15 | ソーシャルワークにおける専門職としての基本的な考え方や職業倫理について、Webclassを活用しながら主体的に取り組めるような課題を設定し学習を進めた。 | | |
| 2 | ソーシャルワーク論Ⅰ | ○ | 15 | インテーク、アセスメント、介入などについて個別援助技術をさまざまな事例とWebclassを活用しつつ実践的に学習した。 | | |
| 3 | ソーシャルワーク特論 | | 10 | ソーシャルワークに関する研究を紹介、ソーシャルワークに関する文献のクリテックの助言などを担当した。（今年度未開講） | | |
| (2) 演習 | | | | | | |
| | 演習の名称 | 科目責任者 | コマ数 | 概要（教育内容・方法等において工夫した点） | | |
| 1 | 社会参加活動 | ○ | 15 | 社会参加活動について紹介し、実際に活動を体験できるように、活動時の諸注意、活動先の紹介などを行った。最後に社会参加活動の振り返りを行い、その意味を考える場を設定した。 | | |

| | | | | |
|---|---------------|---|----|---|
| 2 | ソーシャルワーク演習Ⅲ | ○ | 15 | ソーシャルワークにおけるグループワークの手法を指導した。ロールプレイにより実際にグループワークを行うワーカーとしての体験を経て実践的な学びとなる形式となっている。 |
| 3 | ソーシャルワーク専門演習Ⅰ | ○ | 15 | 人間理解を深める内容で学生の関心のあるテーマを取り上げて学ぶ。合わせて心理療法の一つである交流分析（エゴグラム・ゲーム理論など）を紹介し、対人援助への理解を深める。 |
| 4 | ソーシャルワーク専門演習Ⅱ | ○ | 15 | ソーシャルワーク専門演習Ⅰに同じ。 |
| 5 | ソーシャルワーク専門演習Ⅲ | ○ | 15 | ソーシャルワーク専門演習Ⅱの内容を発展させ、交流分析における人生脚本の考え方を紹介する。後半は、学生がそれぞれ関心のあるテーマから人の思考やコミュニケーションについて調査した結果を発表する。 |
| 6 | ソーシャルワーク専門演習Ⅳ | ○ | 15 | ソーシャルワーク専門演習Ⅲに同じ。 |
| 7 | 卒業研究 | | 15 | 学生の関心に従って先行研究の収集、分類、調査方法を提示し卒業論文の執筆を指導・支援する。 |

(3) 実習

| | 実習の名称 | 科目責任者 | 学外実習：期間 学内実習：コマ | 概要（教育内容・方法等において工夫した点） |
|---|---------------|-------|--------------------|--|
| 1 | ソーシャルワーク実習Ⅱ | ○ | 2020.7-2020.11 | 社会福祉士受験資格取得のためのソーシャルワークの過程を学ぶことを目的とした実習である。学びの深まるように個人面談だけでなくグループによる実習振り返りや電話・メールでの指導も実施している。2020年度はコロナ禍により学外実習受け入れが減少したため8日間の学内実習も実施した。 |
| 2 | ソーシャルワーク実習指導Ⅲ | ○ | 15 | 円滑にソーシャルワーク実習Ⅱに入ることのできるよう、実習施設に関する講義を行い、主体的に事前学習を行えるように課題の作成と成果発表を行った。また実習課題の作成のために個別指導も実施した。 |
| 3 | ソーシャルワーク実習指導Ⅳ | ○ | 15 | ソーシャルワーク実習Ⅱの体験を基にグループや個人で振り返りを行い、実習生の報告書作成を指導した。また、実習報告会での発表資料の作成も支援した。 |
| 4 | IPW実習 | | 2020.4-2020.10 | 新型コロナウイルス感染症対策型の遠隔学習によるIPW実習の指導を行った。 |

(4) 論文指導

| | 対象 | 期間 | 主指導・副指導の別及び指導人数 | | |
|---|------|---------------|-----------------|----|---------------|
| 1 | 卒業論文 | 2020.4~2021.2 | 主指導 | 5名 | 副指導 名 |
| 2 | 修士論文 | | 主指導（指導教員） | 名 | 副指導（指導補助教員） 名 |
| 3 | 博士論文 | | 主指導（指導教員） | 名 | 副指導（指導補助教員） 名 |

(5) その他

| | 名称 | 期間 | 概要（教育内容・方法等において工夫した点） |
|---|------------|---------------|--------------------------------|
| 1 | 研究生受け入れ | 2020.9-2021.3 | 中国からの研修生を受け入れ、講義受講支援や研究指導を行った。 |
| 2 | 修士論文審査 | 2021.2 | 修士論文の副査を担当した。 |
| 3 | 目白大学 非常勤講師 | 2020.4-2020.9 | 「社会福祉・教育」科目を担当した。 |
| 4 | 獨協大学 非常勤講師 | 2020.8 | 「介護ボランティアの理論と実践」科目を担当した。 |
| 5 | 東都大学 非常勤講師 | 2020.4-2020.5 | 「ボランティア活動論」科目を担当した。 |

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師

| | 講演会、研修会、公開講座等の名称 | 主催 | 講演、研修、公開講座等のテーマ | 開催年月 |
|---|-------------------------------|--------------------|---|---------|
| 1 | 福祉推進員研修 | 越谷市社会福祉協議会 | 地域福祉推進のための地域活動の基礎知識の紹介と地域課題を検討するためのグループワークを担当した。 | 2020.11 |
| 2 | 埼玉県主任介護支援専門員研修 | 一般社団法人埼玉県介護支援専門員協会 | 遠隔研修に対応するためケアマネジメントにおけるスーパービジョンに関する講義とケアプラン作成の演習を行う動画を作成した。 | 2020.9 |
| 3 | 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師教育課程（地域福祉） | 国立障害者リハビリテーションセン | 地域福祉領域の講義と演習を担当した。 | 2020.11 |

| (2) 国、自治体、学術団体等における委員等 | | | | |
|---------------------------|---------------------|----------------------------------|---------------|---------------|
| | 国、自治体、学術団体等の名称 | 委員等の名称 | 任期 | |
| 1 | 埼玉県春日部市 | 地域包括支援センター運営等協議会 | 2012-現在 | |
| 2 | 埼玉県春日部市 | 春日部市都市再生協議会 | 2016.7-現在 | |
| 3 | 埼玉県三郷市 | 三郷市障がい者差別解消支援地域協議会 | 2018.3-現在 | |
| 4 | 公益社団法人埼玉県社会福祉士会 | 権利擁護センターばあとなあ業務監査委員会 | 2017.4-現在 | |
| 5 | 社会福祉法人越谷市社会福祉協議会 | 越谷市社会福祉協議会理事 | 2020.5-現在 | |
| 6 | 社会福祉法人埼玉県共同募金会越谷市支会 | 埼玉県共同募金会越谷市支会理事 | 2020.5-現在 | |
| 7 | 社会福祉法人越谷市社会福祉協議会 | 愛の詩基金事業「社会福祉活動団体等支援事業」助成金審査委員会委員 | 2020.5-現在 | |
| 8 | 埼玉県南埼玉郡宮代町 | 宮代町総合計画審議会 | 2019.5-2021.3 | |
| (3) ジャーナリズムでの発言 | | | | |
| | メディア等の名称 | 内容 | 年月 | |
| 1 | 該当なし | | | |
| (4) その他 | | | | |
| | 項目 | 相手方等 | 内容 | 期間 |
| 1 | 該当なし | | | |
| 5. 学内運営 | | | | |
| | 項目 | 内容 | | 期間 |
| 1 | 全学的委員会及びセンター業務等 | 教務委員会 | | 2020.4-現在 |
| 2 | 全学的委員会及びセンター業務等 | 男女共同参画推進委員会 | | 2020.4-現在 |
| 3 | 学科等における委員会等 | 社会福祉子ども学科 カリキュラムワーキンググループ | | 2020.4-2021.3 |
| 4 | 学科等における委員会等 | 社会福祉子ども学科 3年生学年担当・卒研運営委員会 | | 2020.4-2021.3 |
| 5 | 大学広報活動 | 高校生向け開放授業（ソーシャルワーク論Ⅰ・ソーシャルワーク概論） | | 2020.4-2021.3 |
| 6 | 学生支援 | サークル顧問（IVUSA） | | 2018.4-現在 |
| 7 | 学生支援 | サークル顧問（ソレーションズ） | | 2020.4-現在 |
| 6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの） | | | | |
| | 受賞名 | 主催 | 受賞年月 | |
| 1 | 該当なし | | | |
| 7. 特許の取得 | | | | |
| | 特許名 | 特許番号 | 登録年月 | |
| 1 | 該当なし | | | |
| 8. 特記事項 | | | | |
| | | | | |